

第42回富山県中学校選抜体育大会バレーボール競技実施要項

- 1 期 日 令和2年11月7日(土)
- 2 会 場 入善町総合体育館(A・Bコート)
黒部市立明峰中学校(C・Dコート) 黒部市立清明中学校(E・Fコート)
- 3 主 催 富山県中学校体育連盟
- 4 共 催 富山県教育委員会 黒部市教育委員会 入善町教育委員会(公財) 富山県体育協会
富山県バレーボール協会 黒部市バレーボール協会 入善町バレーボール協会
- 5 主 管 富山県中体連バレーボール専門部
- 6 日 程
- | | 男 子 | 女 子 |
|------|-----------|-----------|
| 会 場 | 8 : 3 0 | 8 : 0 0 |
| 受 付 | 8 : 4 0 | 8 : 1 0 |
| 監督会議 | 9 : 0 0 | 8 : 5 0 |
| 競技開始 | 1 0 : 0 0 | 9 : 3 0 |
| 終了予定 | 1 6 : 3 0 | 1 5 : 3 0 |
- 7 競技方法 (1) トーナメント戦方式、3セットマッチ25点ラリーポイント制とする。
(2) 試合時刻を設定し、前の試合が長引いたら追い込みで行う。
- 8 競技規則 (1) 2020年度(公財)日本バレーボール協会制定6人制競技規則による。
(2) ネットの高さは、男子2m25cm、女子2m15cmとする。
(3) 使用球は(公財)日本バレーボール協会検定人工皮革12枚張り4号球(男子モルテンカラーボール、女子ミカサカラーボール)とする。
(4) 選手は、協会規定の番号を着用する。(1~12番が望ましい)
(5) 監督、コーチ、マネージャー、主将は規定のマークを着用する。なお、ベンチにいる大人の服装は統一すること。
(6) 各チーム帯同審判を1名派遣すること。
(7) 線審、点示については出場チームに割り当てることとする。
- 9 参加規定 (1) 各地区とも男女上位3チームとする。
(2) エントリーは、監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手12名以内とする。
(3) 監督は、当該校の校長、教員、または部活動指導員とする。
(4) コーチは当該校の校長、教員又は県中体連が認めた外部指導者とする。
(5) マネージャーは、当該校の教員又は生徒とする。
(6) 合同チームで参加する場合は、県中体連規定に準ずる。
- 10 表 彰 男女とも各ゾーン第2位まで表彰する。但し、コート表彰とする。
- 11 申し込み 令和2年9月30日(水) デジタルデータと本申込み (FAX不可)
申込先 〒938-0807 黒部市立山田新2062 黒部市立明峰中学校
県中体連バレーボール専門部事務局 平 雄造 まで
- 12 組み合わせ 令和2年10月7日(水)、県専門部会で責任抽選を行う。抽選は各地区1位チームをシード抽選し、その後2・3位チームの抽選を行う。

14 感染症対策

大会前

- ① 大会14日前より健康チェックを毎日行う。(大会参加チェックリスト)
- ② 接触感染を防ぐための石鹸による手洗いや手指消毒、飛沫感染を防ぐためのマスクの着用などの感染症対策や健康管理を心がける。
- ③ 会場内の換気やできる限りの消毒を行う。

大会当日

- ① 「大会参加チェックリスト」を持参し、入場前に受付で提出する。
- ② 石鹸による手洗いや消毒用アルコール剤による手指消毒の徹底を行う。
- ③ 役員、観戦者はマスクを着用する。試合に出場している選手以外は、常にマスクを着用する。
- ④ 試合前及び試合後の握手は行わない。
- ⑤ 試合前、セット間、試合後に、ボールの消毒を行う。
- ⑥ 試合後、ライズマンフラッグの消毒を行う。可能であれば、記録席やベンチの椅子の消毒を行う。
- ⑦ 試合前、試合後に、会場の換気を行う。
- ⑧ ベンチやウォーミングアップゾーンでは、距離を取って座ったり待機したりする。
- ⑨ バス等で選手が移動する場合は、換気をこまめに行い、空気遮断による濃厚接触を回避する。
- ⑩ 大会終了後、会場内の換気及び消毒を行う。

大会当日の観戦について

- ① 観戦者は常にマスクを着用し、石鹸による手洗いやアルコールによる消毒を徹底する。
- ② 観戦者は登録選手1名につき保護者1名のみとし、チームで12名以内とする。
- ③ 観戦者は事前に配布されるIDカードを着用する。IDカードがない場合は、入場を断る。
- ④ 観戦終了後は、速やかに退館すること。
- ⑤ 以下の応援は禁止する。
 - ・メガホン（太鼓）を打ち鳴らしながらの声援。
 - ・両手をメガホン代わりにした大声での声援、応援。
 - ・狭いスペースに多数が集まる集団での応援。
 - ・観戦者同士のハイタッチ。

大会後

- ① 大会に参加した選手、役員、観戦者の中に感染者が出た場合には、大会事務局に連絡を行う。大会事務局は、その他の参加者に対して連絡を取り、症状の確認、場合によっては保健所などの公的機関に連絡が取れる体制を確保する。

その他

- ① 後日配布する「競技上の確認」、「観戦時の注意」を読み、感染症対策について理解する。
- ② 各チームで、ベンチで使用するための手指消毒剤を用意する。